

ともに学ぶ。考える。 情報セキュリティ対策

～大人も子どもと一緒に学び、考える。インターネットとのつきあい方～

【4】不正ログイン



利用しているインターネットサービスのアカウント情報（ID、パスワード）が盗まれたり推測されたりして、他の人に勝手にログインされてしまうこと

大事な情報
(ID、パスワード)
が狙われるんだ！



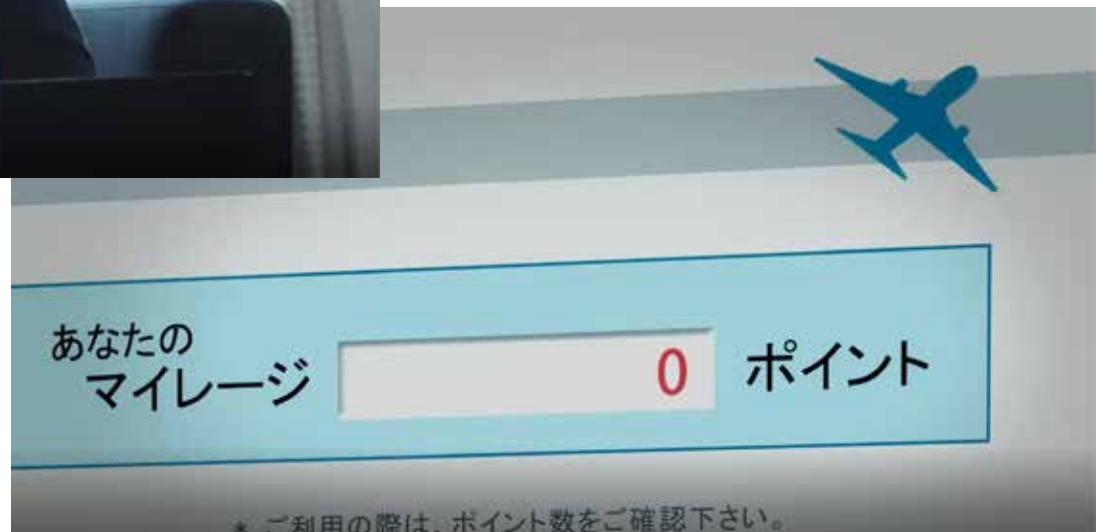
『私ではない私が』

- ◆インターネットバンキングから勝手に送金
- ◆インターネットショッピングで不正購入
- ◆オンラインゲームで勝手にゲームをすすめる
- ◆SNSで全く身に覚えがない投稿をする
- ◆データ流出する



利用しているインターネットサービスのアカウント情報（ID、パスワード）が盗まれる、または推測されることから、不正ログインされてしまい、様々な被害を受けることがあります。

不正ログイン事例 1



コツコツと貯めていた航空会社のマイレージを確認してみると……
なぜか残高が0になっていました。誰かがIDとパスワードを使って乗っ取ったようです。

不正ログイン事例 2

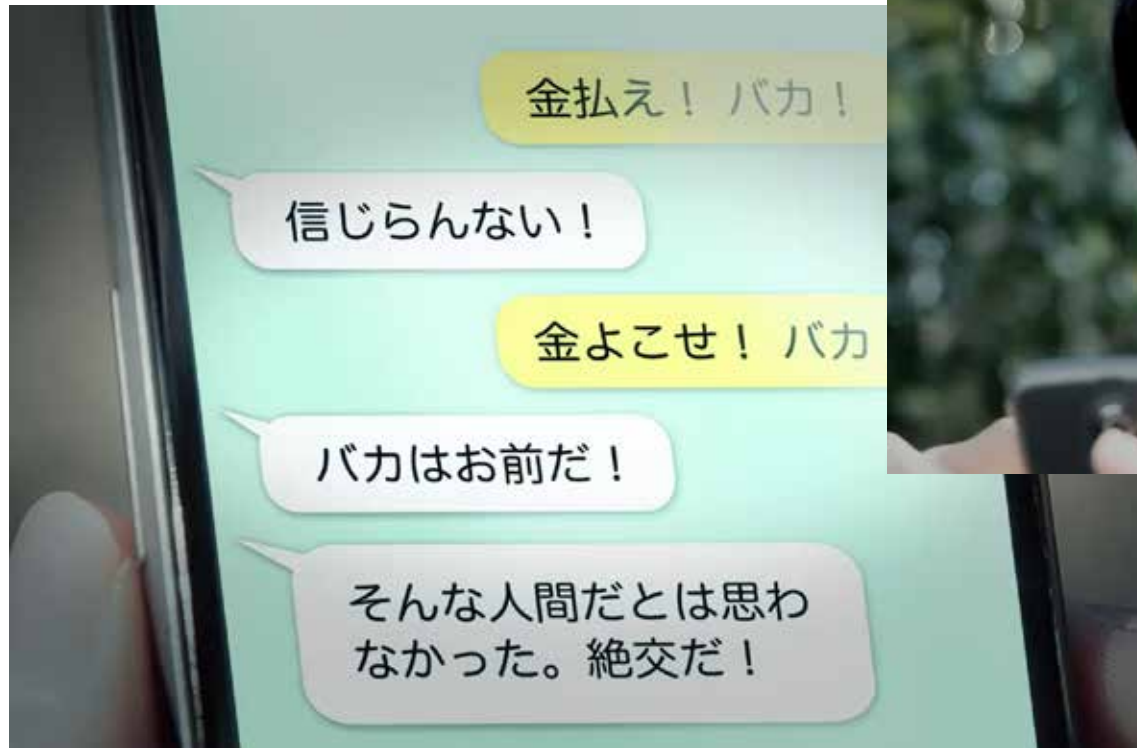


残高・入出金明細

照会口座	普通 ****17
現在残高	0 円

便利なネットバンキングを利用していましたが、ある日、利用しようとする则残高が0円になってました。IDとパスワードが不正に利用され、お金を取られたようです。

不正ログイン事例 3



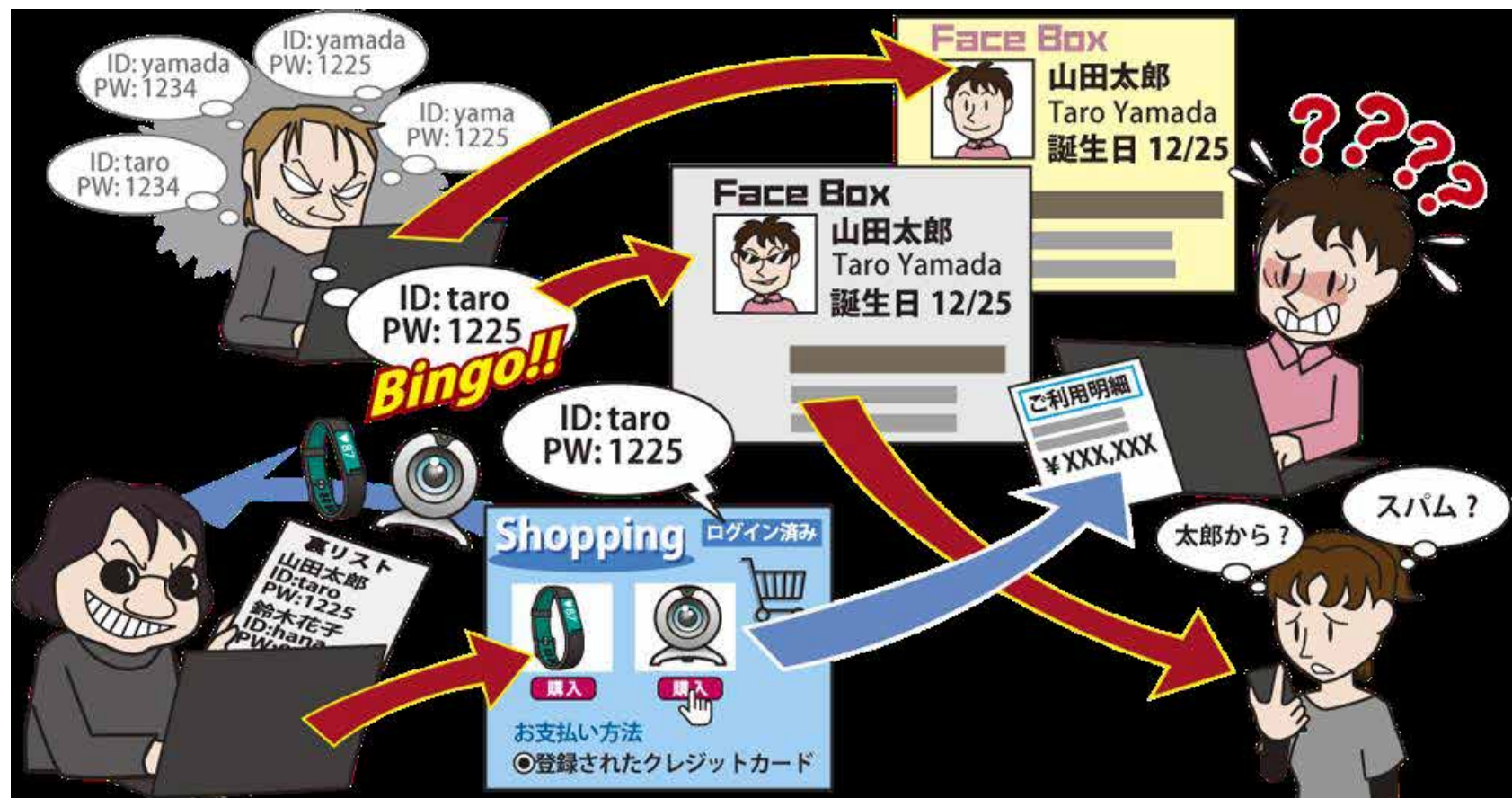
いつも利用しているSNSに自分自身ではない誰かが「なりすまして」書きこんでいました。これもIDとパスワードを不正に使われてしまった事例です。

不正ログイン事例 4



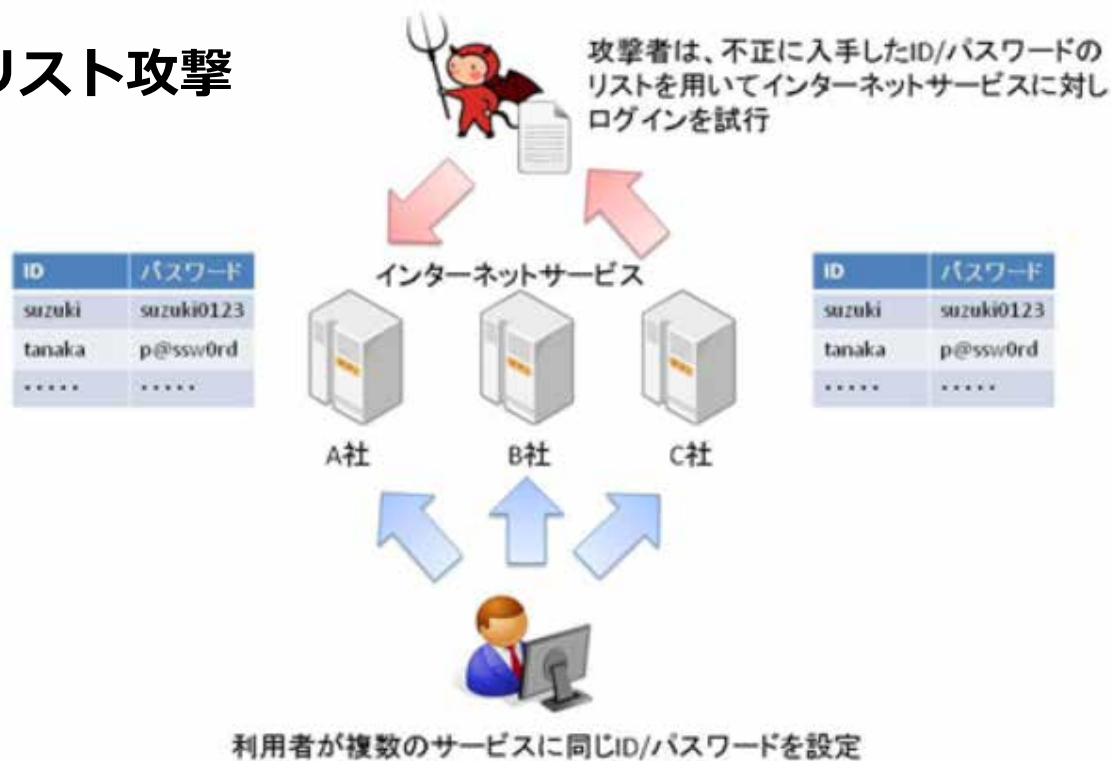
荷物がたくさん届きました。こんなに買い物をした覚えはありません。これもネットショッピングサイトを利用するIDとパスワードを他人に使用された可能性があります。

IDとパスワードを推測されると



名前や誕生日をIDやパスワードに使っていると、SNSのプロフィールなどから推測されてしまいます。同じIDとパスワードを他のサービスにも使っていると、その全てのサービスでログインされてしまい、商品の不正購入や、SNSでの写真やメッセージの覗き見をされることもあります。

パスワードリスト攻撃



攻撃の手口のひとつとして、攻撃者が不正に入手したIDとパスワードのリストを使用する「パスワードリスト攻撃」があります。パスワードを使いまわしていると、この手法により不正ログインされる恐れがあります。この他にも、金融機関などを装った電子メールを送り、銀行口座番号、クレジットカード番号などの個人情報などを詐取する「フィッシング」などの手口があります。

被害にあわないために

- ・パスワードを、できるだけ長く、複雑に、使い回さない
- ・メールの添付ファイルやURLを安易に開かない
- ・ログインの際に「多要素認証」など複数の要素（記憶、所持、生体情報）を用いた認証方式を利用する。

不正ログインの被害にあわないためには、各種インターネットサービスを利用するユーザが自分自身で対策を実施することが大切です。まずはパスワードを長く複雑にするなど推測されにくいものにして、さらに複数サービス間で使い回しをしないことが重要です。心当たりのないメールには気を付けましょう。また、一歩進んだ対策として、「多要素認証」の設定を推奨します。

- パスワードの変更
- サービスのサポート窓口へ連絡し、対処法を聞く
- クレジットカードが紐付いている場合は、クレジットカード会社にも連絡



もしアカウント情報が漏洩したことに気付いたら、速やかに対処する必要があります。利用しているサービスのログイン履歴を確認したり、クレジットカードやポイント等の利用履歴を定期的に確認することで、被害を早期に検知することが出来ます。

不正ログインに関連する脅威 について、最新情報に注意する

最新情報はこちらから
「情報セキュリティ安心相談窓口」

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/>

「情報セキュリティ10大脅威」

<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/index.html>



大事なのは「ひとりひとりのセキュリティ意識」です。自分自身で情報セキュリティ対策を心掛け、利用状況を管理し、新しい脅威にも対応できるように、なるべく最新のセキュリティ情報を知ることが自分自身を守ることにつながります。

確認テスト 問題

(4)不正ログイン

Q4－1

不正ログインの被害にあいにくい行動はどれでしょう。

選択肢

- | | |
|--|---|
| | 1. IDとパスワードがわからなくなるので家族にメモを預けておく |
| | 2. 固定のパスワードだけでなく、他の要素も使って認証するサービスの利用を心掛ける |
| | 3. 多くの特典が受けられるので、出来るだけたくさんのインターネットサービスに登録する |

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q4ー1

不正ログインの被害にあいにくい行動はどれでしょう。

正解	選択肢
	1. IDとパスワードがわからなくなるので家族にメモを預けておく
●	2. 固定のパスワードだけでなく、他の要素も使って認証するサービスの利用を心掛ける
	3. 多くの特典が受けられるので、出来るだけたくさんのインターネットサービスに登録する

【解説】

不正ログインの被害にあわないためには、各種インターネットサービスを利用するユーザが自分自身で対策を実施することが大切です。

まずはパスワードを長く複雑にするなど推測されにくいものにして、さらに複数サービス間で使い回しをしないことが重要です。心当たりのないメールには気を付けましょう。

また、一歩進んだ対策として、「多要素認証」の設定を推奨します。

確認テスト 問題

(4)不正ログイン

Q4-2

不正ログインの被害にあった場合の対処法として間違っているものはどれでしょう。

選択肢


- | | |
|--|--|
| | 1. パスワードを変更する |
| | 2. ログインされたサービスのサポート窓口に連絡し、対処法を聞く |
| | 3. クレジットカード情報は流出した可能性があるので、クレジットカードを速やかに処分する |

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q4－2

不正ログインの被害にあった場合の対処法として間違っているものはどれでしょう。

正解	選択肢
	1. パスワードを変更する
	2. ログインされたサービスのサポート窓口連絡し、対処法を聞く
	3. クレジットカード情報は流出した可能性があるため、クレジットカードを速やかに処分する

【解説】

もしアカウント情報が漏洩したことに気付いたら、速やかに対処する必要があります。

- ・パスワードの変更
- ・サービスのサポート窓口連絡し、対処法を聞く
- ・クレジットカードが紐付いている場合は、クレジットカード会社にも連絡